

# 泥の子と狭い家の物語



こんなん、  
ほんまもんの幸せとちゃう

解雇

戦慄

BOSSYME

# 第9回 日本制服アワードグランプリ織田ひまり、衝撃の映画デビュー作!



ガールズポップユニット「BREAK TIME GIRLS」での活動に加えて、近年舞台やTVでの活躍が目覚ましい注目の新人織田ひまり待望の映画初出演&初主演作! 原案は、関西演劇界の異端児オカモト國ヒコが書き下ろし、舞台劇からラジオドラマへと進化を遂げた物語「泥の子と狭い家の物語」。

不動産屋いわく「狭いけど幸せな家」に住む内田家に降りかかる驚天動地の物語。内田家の次女「小豆(あずき)」を演じた織田は映画初出演しかも初主演という大役にもひるむことなく、時に激しく叫び、時に思春期特有の憂いを含んだ表情でこの難役を見事に演じた。

## 「泥の子って知ってる?」 「私が救ったげる…」

見知らぬ女が、家族になり、  
あなたは家族から追い出される。  
これは、あなたの物語。



## INTRODUCTION

原作はオカモト國ヒコが書き下ろし2012年に劇団テノヒラサイズで舞台化、翌2013年にNHKオーディオドラマ「青春アドベンチャー」でラジオドラマ化された「泥の子と狭い家の物語」。この奇妙奇天烈なオリジナルストーリーを映像化したのは、本作が長編映画デビュー作となる新人西岡眞博。CMディレクターとして数多くのテレビCMを演出し、国内外の広告賞を多数受賞した西岡がその類まれなビジュアルセンスを炸裂させ見事映画化を果たした意欲作だ。

## STORY

小豆とその家族は、不動産屋曰く「ちょっと狭めでですけど、みんなが幸せになれる家」で、さまざまな問題を抱えながらも、平凡に暮らしていた。そんなある夕立の日、加賀美と名乗る女が、祖母・松子の介護の手伝いにやってくる。鍼灸師だという加賀美は、父・幸男の酷い腰痛も一瞬にして治してみせ、見事再就職を叶えた。母・康子も明るさを取り戻し、少しギスギスしていた夫婦仲も良かったかのように見えた。しかし、そんな加賀美を次女・小豆だけが最初から疑っていた。最初は幸せを運んでくる天使のように見えた加賀美だったが、徐々にその正体を見せ始め、一家をじわじわと蝕んでゆく…



## MESSAGE

先生の言うことを聞きなさい。親の言うことを聞きなさい。人と違ったことをしてはいけません。どうして自分の意見を述べてはいけないのか、どうして正しいと思えないことをしなければいけないのか、どうして正しいと思う行動をとったら異物扱いされるのか。逃げ場のない世界で腕き苦しんでいたあの頃の感覚が、コロナ禍で鮮明によみがえってきた。2022年、世界的なパンデミックの時代を我々は生きている。この息苦しくて生きづらい日本で喘いでいる人たちへ。差別、偏見、同調圧力、クソ喰らえ。今、この時代を生きるすべての人に本作を捧げます。(監督 西岡眞博)

織田ひまり 田中美里 月丘七央 有田洋之 筒井俊旭 藤井佳代子 四天王寺紅 早坂風海 湯浅崇 岩本佳穂 坂田琴音

監督:西岡眞博 原作:オカモト國ヒコ「泥の子と狭い家の物語」 脚本:弥重早希子

プロデューサー:前田和紀 撮影:亀井義紀 照明:堀亀誠 録音:大岩修二 美術:萩原英伸/井内克信/元盛結未 衣装:ヘアメイク:岩咲希しのぶ 振付:SHOHEI 猫コーディネイト:竹内欽哉 編集:山本菫津己 サウンドデザイン:犬丸正弘 CG:上野あきのり タイトル:撫子/立沢トオル 宣伝デザイン:北嶋直樹 劇刺:クスマヒデオ 主題歌:FONK MIKE 宣伝:配給:ベストブレイク 劇場営業:FLICKR 宣伝:lighthouse 製作:team TANIYON Inc. 2022年/カラー/シネスコ/stereo/117分/©チーム谷四 文化庁「ARTS for the future!」補助対象事業

公式サイト & SNS



DVD発売中&配信中

amazon 他、各オンラインストア / prime video U-NEXT 他、各プラットフォーム